

第7回村上市男女共同参画計画策定委員会 議事録

1. 開催日時 平成24年10月22日(月) 13:30～15:00
2. 開催場所 村上市役所 5階 第5会議室
3. 出席委員 村山優子委員、加藤雅代委員、鈴木文子委員、横井栄子委員、野田 忠委員、富樫浩美委員、小川 勲委員、遠山栄子委員、澤渡寿子委員、水橋恵子委員、小田永人委員、斎藤千栄委員
※石川伊織アドバイザー
4. 欠席委員 富樫アヤ委員、高野マサ子委員、佐藤たみ子委員
5. 出席職員 政策推進課；斎藤課長、竹内課長補佐、船山副参事、高橋主査
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

第7回村上市男女共同参画計画策定委員会 会議次第

日 時：平成24年10月22日(月)
午後1時30分～
会 場：村上市役所 5階 第5会議室

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 事

(1) 計画の基本理念について

(2) 村上市男女共同参画計画(案)について

4 そ の 他

5 閉 会

会 議 経 過

1. 開会 (13:30)

事務局； お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

本日は、富樫アヤ委員、高野マサ子委員、佐藤たみ子委員から欠席の連絡をいただいております。それでは、小川委員長からご挨拶をお願いいたします。

2. 委員長挨拶

委員長； みなさんこんにちは。私たちが審議してきたこの委員会も第7回目となり、残すところ今日と次回の2回となりました。実質的な審議は今回が最後であろうと思います。

前回はたくさんのご意見をいただきましたが、出された意見をよく取り入れた計画（案）が作成されたのではないかと私は受け取りました。

男女がお互いに認め合い、協力し合いながら、よりよいまちをつくっていくために、行政はどのようなことをすればよいのか、企業、学校、私たち市民一人ひとりは、どのように意識改革をして頑張っていけばよいのか、この計画（案）に示されていると思います。

今日は、みなさんから率直なご意見をいただき、実現可能な行動目標となるようなご審議をお願いして、挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願ひします。

3. 議事

(1) 計画の基本理念について

委員長； 資料1をご覧になり、この基本理念についてご意見のある方はいらっしゃいますか。

委員； 私は、やはり3番目の「男女がともに自立し、支え合い、認め合う、元気“eまち”村上市」が一番よいと思います。

委員； 言葉を絞り、考え方を短く表現できるものが理念だと思います。的確で、短く、私たちが考えていることが入っているような表記のほうが、広く市民にもキャッチフレーズのように覚えていただけると考えますので、私は2番がよいと思います。

委員； 「元気eまち」は分かるのですが、アルファベットの「e」はどういう意味でしょうか。

事務局； 「eまち」は、「住んでいいまち」、「訪ねていいまち」ということを表しています。「e」には「Environment（環境）」、「Eternity（永続性）」、「Earnest（誠実）」、「Eco-economy（環境的に持続可能な経済）」という意味が込められています。

委員長； 1番と2番は「支え合う」と「認め合う」を入れ替えたものですが、前回委員から、「支え合う」よりも「認め合う」ほうが先ではないかという意見が出され、事務局も納得していました。2番か3番ということではよろしいでしょうか。

- 一 同； 異議なし。
- 委 員； 「認め合い、支え合う」がよいということになれば、3番目の案でも、「認め合う」と「支え合う」を入れ替えてはどうでしょうか。
- 委 員； 私は2番がよいと思います。基本理念として言えるくらいになるためには、3番は長すぎると思います。
- 委 員； 私は、覚えやすさからも2番がよいのではないかと思います。3番の「自立」というのは、どの範囲でのものなのかをお伺いしたいと思います。自立には、男性の女性への依存からの自立という意味なのか、主体的に自らの選択や意思を持って生活するということまでを含む自立なのかによって、私の捉え方が変わってきます。
- 委 員； 後者のほうです。広い範囲での人間的な自立という意味です。
- 委 員； 世代によってなのか、受けた教育によってなのかは分かりませんが、「自立し」を最近使われる「自己責任」と同じような意味での自立と理解されないだろうかという気持ちがあります。そういう意味で、2番の「認め合い、支え合う」という表現で、象徴的に自立も含めて、より大人になってほしいというニュアンスをあえて表に出さないほうが、受け入れられやすいのではないかと思います。
- 委 員； 「認め合い、支え合う」の中に、自立できない人たちのことも認め、自立するように支え合うなど、広い意味が隠れているのであれば、2番でよいのではないかと思います。
- 委 員； 覚えやすく、印象に残るので、2番がよいと思います。
- 委 員； 語呂的には2番が一番よいと思います。この委員会で「自立」を声高に言わなければならないというところから行くというのは、少しと引がかかります。「男女が」と来た場合は、「認め合い、支え合う」から始めてよいのではないかと考えます。「e」については、総合計画にもあるものなので、言葉の解説を入れておけばよいと思います。覚えやすいということもあって、2番に賛成です。
- 委 員； 自立は大事だとは思いますが、みなさんの意見を聞いて、認め合い、支え合うために、その前提として、自立していなければならないという意味もあると思い、2番でもよいと思いました。
- アドバイザー； 先回提案いただいたのは「自立」ということでしたが、先ほどのお話を伺っていると、「自律」ではないでしょうか。「自立」は自分で全て賄っているという意味です。健康で、仕事があって、働ける人間以外には成立不可能です。子どもは自立していないので計画から外れます。また、介護を受けている人は当然自立していませんので、そのような文言は入れられないと思います。委員がおっしゃったのは、自分の意思で、自分の行動を決めていくことができるだろうかという、「自律」の話だと思います。
- 委 員； 私は、子ども・若者支援のことを勉強しています。就労できない子どもたち、引きこもりになりがちな若者が大変問題になっているということで、「自立」ということを言ったと思います。
- アドバイザー； 子どもに自立できる力を身に付けてほしいというのであれば問題ないで

すが、自立していた人間も歳をとっていけば、他人の手助けを必要とするようになります。子どもだけの話であればそれでもよいのですが、そうではなくなる可能性も出てくるのではないかということが心配でした。

委員； 男女共同参画の理念であれば、そこまで入れなくても、それを前提に2番でよいと思いました。

アドバイザー； 子どもたちに社会的な自立を促すことに失敗したから、子どもがニートになったというのは、私は間違いだと思います。政府が自立できないような経済構造を作ってしまったあげく、その責任を子どもに取らせるというのは、間違っていると思います。そういう意味でも、支え合うことから始めなければ、うまくいかないと思います。いかがでしょうか。

委員； 支え合うのが先ですか。

アドバイザー； 子どもたちの自立を促すために、子どもたちを支えなければいけないという話になると、やはり支え合うためには、認め合う必要があるという方向になってくると思います。

委員長； みなさんの意見も踏まえて、この委員会としては2番の「男女がともに認め合い、支え合う、元気“eまち”村上市」を基本理念にすることでいかがでしょうか。

委員； 異議なし。

委員長； それでは、計画書の案に2番の「男女がともに認め合い、支え合う、元気“eまち”村上市」を入れてください。

(2) 村上市男女共同参画計画(案)について

委員長； (2)の村上市男女共同参画計画(案)に入ります。事務局から説明をお願いします。

－ 事務局説明 －

アドバイザー； 村上市男女共同参画計画庁内推進委員会の中に、委員会と担当者会議があるのですか。

事務局； そうです。一つ一つの細かな事業に関することは、担当者会議で行います。

アドバイザー； 男女共同参画社会の形成のための総合的な企画及び推進に関することなどについて協議し、副市長、教育長、本庁課局長、支所長で組織するのが推進委員会です。「この会議には」が「この会議の中に」だとすると、会議を構成している人の中に担当者会議が存在することになるので、組織図としておかしいです。下部組織という位置付けだとすると、推進委員会の囲みが、担当者会議を含まないのではないのでしょうか。

事務局； 40ページの文章も、この会議にはなっていますが、委員会の中に実務を行う担当者会議を設けるという意味ですので、検討させていただきたいと思いません。

アドバイザー； 用語解説のセクシャルハラスメントとドメスティックバイオレンスです

が、本文で「セクシャルハラスメント(セクハラ)」や「ドメスティックバイオレンス(DV)」など括弧書きで表現している部分もあるので、「略してセクハラ」などと書いておくと親切かもしれません。

事務局； 分かりました。

委員； 女性委員のいない審議会等の数について、前は「年々減少し、ゼロに近付ける」という表現でしたので、私の意見をお話しました。今回「0/全組織」になったということで、私は逆に「4/32組織」の方が目標値としては具体的ではないかと思います。ただ、分母が5年後にどうなるか分からないということが私の中で整理がついていません。やはりゼロではなくて、具体的な数値目標を掲げた方がいいと思います。それと「4/32組織」の「4」の根拠は何でしょうか。

事務局； 防災会議、国民保護協議会、公共交通の協議会については、法律や条例にどのような分野から充てるということが示されています。その分野の団体の代表者が男性になっています。また、文化財審議会については、その分野の第一人者的な方をお願いしているとのことですが、今は女性がないのが現状です。これは、5年後に急激に変わるとは考えにくいと思われ、合わせて4組織です。

委員； 女性がいなかったり、会長という名前で召集するので、女性がないということですか。

事務局； 団体に対して、会長に委員になってほしいという案内はしていません。どなたかを推薦してほしいという案内をしていますが、男性が会長になっていて、委員に出てこられるのが実際のところ。「4」を「0」にした経緯については、男女共同参画計画を策定して事業を進める中で、今後は「職務にとらわれず幅広く選出をお願いします」ということを市の共通認識として、委員選出をお願いする際に文書に載せるだけでも、ゼロを目指すという目標でよいのではないかと、みなさんに資料を送付した後、内部で議論し、ゼロにしたところです。先ほどの文化財審議会については、なかなか女性の進出が進まない状況です。しかし、男女共同参画を推進する上での目標として入れてみようということで提案させていただきました。

委員； はい、分かりました。

委員； 委員をお願いする際に、推薦を依頼する団体に対して、村上市は男女共同参画計画の中で女性のいない審議会数ゼロを目指していることを伝えたほうがよいと思いますので、ゼロにしたほうがよいと思います。

委員長； では、ゼロを目指しているということで、提案のとおり「0/全組織」でよろしいですか。

アドバイザー； 文部科学省では、学会の設立要件に女性会員のパーセンテージを示していて、女性の人数が少ない学会に対して意見しているようです。そのように文部科学省がチェックを入れていますので、これから劇的に変わる可能性はあります。ゼロにする働きかけを続けるという目標は、意義のあることだと思います。

委員； この計画書を根拠に働きかけができるということです。

委員； つまり前進と考えればよいでしょうか。

事務局； 大幅な前進と考えてよろしいかと思ます。

委員長； ほかにありませんか。

アドバイザー； 前後して申し訳ありませんが、第1章の「計画の期間」について、平成24年度から平成28年度までとなっていますが、平成24年度は既に始まっていますし、さまざまな状況があつて計画策定がずれ込んだ経緯がありますので、その部分を説明しておく必要はありませんか。

事務局； 表現の仕方を検討させてください。

委員； 14ページ③「男女共同参画に関する教育のあり方の研究」ですが、「男女共同参画の視点による教育の実施についても研修を行います」とありますが、「の実施」は必要でしょうか。

事務局； 「男女共同参画の視点による教育についても研修を行います」に訂正させていただきます。

委員； 「教材・学習活動の見直し」について、「各学校に委ねているが」は「各学校に委ねていますが」になるのではないのでしょうか。

事務局； そのとおりです。訂正をお願いします。

委員； 24ページの3行目ですが「女性自身が責任ある地位に就くことに抵抗がある」が先に来っていますが、26ページのパーセンテージの部分では「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」のパーセンテージが高く、先に来っています。意識調査結果のとおり、「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」を先に持ってきてはどうでしょうか。

事務局； 「女性自身が責任ある地位に就くことに抵抗がある」と「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」は、後者のほうが高い数値を示していますが、地域活動に専念できない理由として、アンケート結果から持ってきたものです。グラフのタイトルが「役員に男性が多い原因」となっていますので、グラフを見て読み取れるかは疑問な部分があります。

委員長； ほかの委員さん、いかがですか。

委員； 「家事・育児が忙しく」が前に来ると、女性とはそういうものだという先入観のようなものを抱かれる可能性があるので、このままがよいと思ます。

委員； 「責任ある地位に就くことに抵抗がある」というのは、女性に責任があるという捉え方をされる恐れがあり、少し抵抗があります。数値的に上ならば、仕方がないと思ますが。

アドバイザー； 26ページのグラフを見ていただくと、「女性自身が責任ある地位に就きたがらない」と言っているのは、男性が多く、女性が少ないです。一方で、「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」と言っているのは、女性が多く、男性が少ないです。つまり、男性側の言い分なのか、女性側の言い分なのかということになってしまいます。どちらを前に書いても、委員さんのおっしゃることは説得力があります。どうしましょうか。

委員長； いかがでしょうか。

アドバイザー； これは非常に難しいです。

事務局； 事務局ではなかなか判断しにくいので、ご意見をいただければありがたいです。

委員； 例えば、家事育児が終わった女性が会の役員になってほしいと言われた際に、家事や育児が忙しいのではなく、責任ある地位に就きたくないと思う人が多いと思うので、このままでよいと思います。

事務局； この文章が、女性の役職への登用に向けた啓発につながっています。前段と文章が合わなくなってくると思いますので、もう一度整理させていただきたいと思います。特に中ほどの4行は校正し直したいと思います。

委員長； みなさん、いかがでしょうか。

一 同； 異議なし。

委員長； それでは、全体を通して何かご意見ありませんか。

一 同； 異議なし。

委員長； ありがとうございます。事務局は、本日出た意見に基づいて修正をお願いします。

事務局； 次回は最終回になる予定です。最終確認をしていただいた後、市長に提言書をお渡ししていただこうと考えていました。最終確認で修正があれば、その場で直してということになります。修正する時間を利用して、計画の概要版の原案をお示しして議論していただこうと考えています。もちろん資料の事前配付はさせていただきますし、次回の委員会でも修正可能です。

委員長； 委員のみなさんには、事前に送られた資料を確認していただき、次回委員会にご意見をお持ちください。

委員； 意識調査の結果が各ページに載っていますが、表に意識調査の結果であるという表示をしなくてもよいのでしょうか。

アドバイザー； 最初にグラフが出てくるのは8ページです。7ページを読めば、意識調査の結果であるとはわかりますが、やはり全部に付けるのは難しいにしても、最初の表I-1-①に「平成23年度意識調査の結果より 以降同じ。」というような表現がしてあれば親切であると思います。

事務局； 工夫して載せたいと思います。

委員長； ほかにいかがでしょうか。

一 同； なし。

事務局； 表紙に(仮)村上市男女共同参画計画(案)となっておりますが、成案になりますと当然、(仮)と(案)が取れます。自治体によっては、「プラン」や「ビジョン」とか名前が付いています。事務局では、「村上市男女共同参画計画」にしたいと考えています。また、「第1次」とか「新」という表現が必要かどうかについても、ご議論いただきたいと思います。

委員長； いかがでしょうか。

アドバイザー； 合併後の最初の計画ということを示したいのであれば、「第1次」と付けたほうがよいのではないのでしょうか。

事務局； それでは、「第1次村上市男女共同参画計画」とさせていただきたいと思いません。

委員長； みなさん、どうでしょうか。

一 同； 異議なし。

委員長； では事務局、そのようにお願いします。

副委員長； 今決めたタイトルの下に、基本理念を入れたらどうでしょうか。

アドバイザー； 宣伝効果が高まると思います。

事務局； それでは、サブタイトルとして基本理念を入れさせていただきます。

委員長； それでは、副委員長から閉会の挨拶をお願いします。

副委員長； 長時間お疲れ様でした。5年後に、村上市はいいまちだと思っただけのような施策が進んでいくように、私たちもしっかり見ていきたいと思います。今日はありがとうございました。

4. その他

委員長； 議事を終わりましたので、事務局から連絡をお願いします。

事務局； 次回の予定ですが、審議内容は先ほど申し上げましたが11月26日の月曜日に予定しております。計画書案についてご審議いただき、提言書を市長に出していただくことと、概要版の案をご審議いただきたいと考えています。また、冊子の印刷は、入札がありますので、年明けになってしまいます。概要版も2月か3月に、基本的には全戸にお配りする予定です。なお、次回26日は最後ですので、慰労会を計画しております。

事務局； 以上を持ちまして第7回村上市男女共同参画計画策定委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

5. 閉会 (15:00)